公立豊岡病院組合
Toyooka Public Hospitals' Association
豊岡病院　日高医療センター　出石医療センター　朝来医療センター
兵庫県豊岡市戸牧1094　TEL0796-22-6111(代表)　http://www.toyookahp-kumiai.or.jp

発行部数：45,000部
配布エリア：豊岡市、朝来市
発行月：2月、5月、8月、11月
発行：公立豊岡病院組合
取材：南　文枝
撮影：川崎博道（株式会社 北星社）
編集・デザイン：株式会社 オー デザインチャンネルズ
印刷：株式会社 北星社

知って中の仕事

病院には、医師や看護師、薬剤師のほか、検査や機械の保守・点検などを担当する技師、作業療法士、事務などさまざまな職種の人たちが働いています。今回は、医師の事務作業をサポートする医師事務作業補助者（MA：メディカルアシスタント）の仕事を紹介します。

医師事務作業補助者（MA：メディカルアシスタント）

医師の事務的な業務をサポート 未経験者でも手厚く指導

医師事務作業補助者はMAと呼び、医師が医療行為に専念できるように、事務的な業務をサポートします。例えば外来の診察室の場合、医師の横でカルテの代行入力をする、次回の診療や検査の予約を入れるなどです。基本的に医師の指示に従って作業しますが、配属先の診療科によって業務内容は少し異なります。

2023年度の入職者の中には未経験の職員もいます。「病院見学で、先輩から『やりがいが感じられる』という話を聞いていいなと思った」「別の職種だけど、医療機関で働いた経験を生かせると思った」など、志望理由はさまざまです。

豊岡病院では、希望者を対象に病院見学も受け付けています。入職後は、約1カ月の基本的な研修の後、配属された診療科で半年ほど、指導に当たる先輩とペアを組んで業務に取り組んでもらいます。

MAの仕事の魅力は？と尋ねると、ある職員は「医師の役に立てていると実感できた時や、『ありがとう』と言われた時はうれしいです」と話します。医師と患者とのやり取りから必要な業務を予測して実行し、スムーズに診療が進んだ時もやりがいを感じるそうです。

新人MAと先輩MAの意見交換会の様子

MAのサポートで診療や待ち時間を短縮

私と患者さんとのやり取りを聞きながら、的確にカルテに入力してくれますので、大変助かっています。自分で入力するよりも早いですし、診療に集中できます。診療時間や待ち時間の短縮にもつながりますね。

豊岡病院病院長補佐
兼形成外科部長
義本 裕次 よしもと ゆうじ

随時募集中

豊岡病院では、経験や資格の有無を問わずMA職員を募集しています。未経験でも丁寧にサポートします。
まずは見学に来てみてください。

詳しくは、ホームページ臨時職員の募集「医師事務作業補助者」をご覧ください

臨時職員募集ホームページ

めっちゃ推し活

皆さんの"推し"は何ですか?

公立豊岡病院組合
管理者
八木 聰 やぎ さとし

但馬こうのとり周産期医療センター
センター長
上田 雅章 うえだ まさあき

推し活が日々の仕事のモチベーションに

公立豊岡病院組合管理者の八木聰さん、但馬こうのとり周産期医療センター センター長の上田雅章さんに、プロサッカーチーム「ヴィッセル神戸」の魅力を語ってもらいました。

── ヴィッセル神戸は現在首位。今シーズンは快進撃を続けています。

八木　考えられない。

上田　信じられないですね。これまではだいたい真ん中よりも下の方の順位にいましたから。落ち着かないです。

── いつからチームを推していますか。

上田　1995年のチーム設立時からです。

八木　同じですね。地元にプロサッカーチームがある幸せを感じています。

上田　私は設立前、当時所属していた神戸大学医学部のサッカー部で、誘致の署名活動などを手伝っていました。

── 現地で試合を観戦することも。

八木　以前は年間シートを買っていましたが、新型コロナウイルス感染症が流行してからは行けていません。

上田　私も年間シートを購入していましたがコロナ禍で解約しました。現在は行ける試合に行きます。夏休みは、家族でアウェーの試合を見に行きます。

八木　普段は動画配信サービスで観戦しています。正座して見ていますね。勝った時は繰り返し見ます。

上田　結果を知っていても、ゴールシーンを何度も見てしまいます。

── 推し活が仕事に与える影響は?

上田　仕事に取り組むモチベーションになっています。週末に試合があると思えば、しんどい仕事も頑張れます。

八木　試合に負けても、次の試合の前日になると気持ちが上がってくる。生活の活力になっていますね。

── チームに応援メッセージを。

八木、上田　（スローガンの）「一致団結」で行こうです!公立豊岡病院組合も一致団結で頑張っていきます。
（2023年10月、優勝決定前に取材）

取材後、ヴィッセル神戸はJ1リーグ初優勝を果たしました。おめでとうございます!

採用試験のお知らせ

詳しくは、ホームページをご確認ください

	募集職種	募集人数	募集受付	試験日
令和五年度	看護師・助産師	60名	⑩ ～2月13日(火) ⑪ ～3月11日(月) ※必着	⑩ 2月17日(土) ⑪ 3月16日(土)
令和六年度	看護師・助産師	60名	① ～4月12日(金) ② ～5月17日(金) ※消印有効	① 4月27日(土) ② 6月1日(土)

採用試験ホームページ

以後、毎月第一土曜日試験実施予定

奨学金生募集

詳しくは、ホームページをご確認ください（令和6年2月下旬に更新予定）

	募集職種	募集人数	貸与金額
令和六年度	看護師 ※令和6年度は助産師奨学金生の募集は行いません	20名程度	月額5万円 （年額60万円） ※一定要件を満たすと返還を免除します

応募資格等
以下3点のすべてを満たすこと
- 令和6年4月1日時点で看護師養成校に在学している（応募時点で入学見込も可）
- 令和6年4月1日時点で残修学期間が2年以上の者
- 資格の取得後直ちに豊岡病院組合で勤務する意思がある

奨学金ホームページ

医師異動のお知らせ（令和5年10月2日～令和6年1月1日）

新任

	氏名	診療科	日付
豊岡病院	国本 一輝（くにもと かずき）	小児科　医員	令和5年11月1日着任
	小山 御咲（こやま みさき）	産婦人科　医員	令和6年1月1日着任
	赤松 摩紀（あかまつ まき）	救急集中治療科	令和5年11月1日着任
	浅井 亮太（あさい りょうた）	救急集中治療科	令和6年1月1日着任

退職

	氏名	診療科	日付
豊岡病院	徳力 俊治（とくりき としはる）	形成外科　部長	令和5年10月31日退職
	和田 征大（わだ せいだい）	外科　医長	令和5年12月31日退職
	山岡 侑介（やまおか ゆうすけ）	産婦人科　医員	令和5年12月31日退職
	辻村 茉梨奈（つじむら まりな）	救急集中治療科	令和5年12月31日退職

令和5年 第3回公立豊岡病院組合議会 12月定例会が開催されました

12月1日から12月27日まで開催された公立豊岡病院組合議会の議案と結果について、ホームページからご覧いただけます。

問い合わせ：公立豊岡病院組合議会・監査事務局　TEL 0796-22-6111（内線2020）

議会ホームページ

入札参加資格申請書の受付について

令和6・7年度において、公立豊岡病院組合の発注する建設工事及び物品・役務関係の入札に参加を希望される方は、申請様式等を病院組合ホームページへ掲載しておりますのでご確認ください。
なお、豊岡市・朝来市とは別に申請が必要となりますのでご注意ください。

編集後記

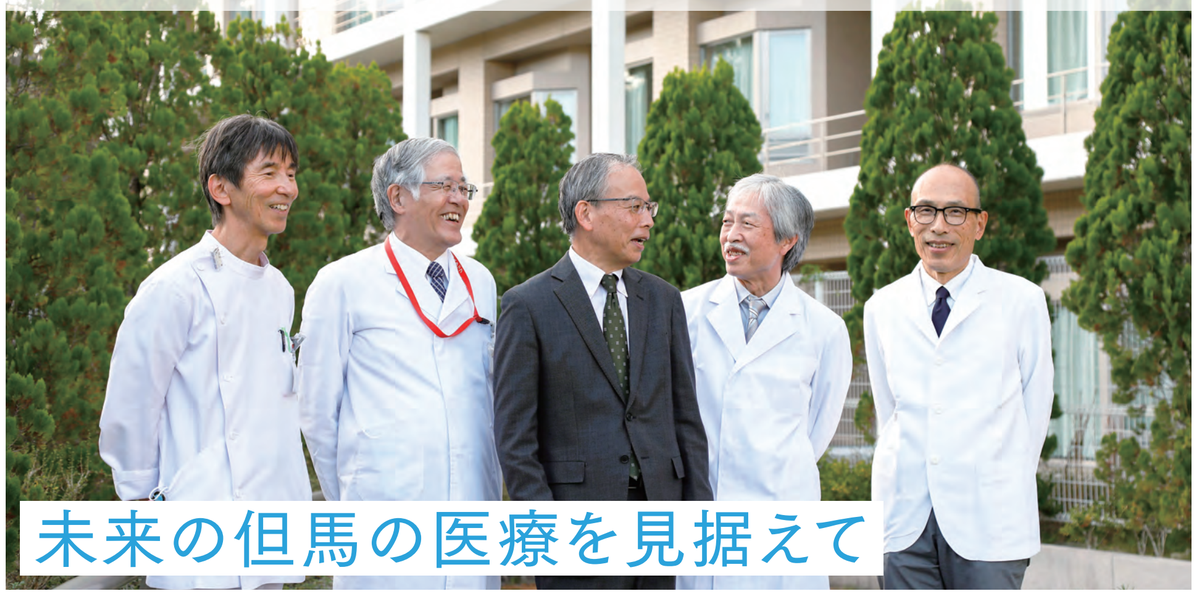
広報紙「ほすぴたる」は、2003年11月の創刊から満20年を迎え、これを節目にこれまでの冊子型からタブロイド判・フルカラーにデザインを一新しリニューアルしました。創刊時からの「自らを語り、知っていただき、叱咤激励を受けながら、これまで以上に愛される病院へ高めていく」という広報への思いを振り返り、今後も組合立病院の情報などを分かりやすくお届けできるよう努めていきますので、よろしくお願いします。（次号発行：5月号）

組合公式 Instagram

但馬の医療を綴る ―

ほすぴたる

2024年2月
公立豊岡病院組合広報紙
第114号



未来の但馬の医療を見据えて

新年あけましておめでとうございます。公立豊岡病院組合は、本年も地域の皆さまから信頼される医療機関を目指し、職員一同全力で頑張っていきます。年頭に当たり、各部門の責任者に但馬地域の医療を担っていく決意や将来の展望を聞きました。

地域の実情に合った広域医療連携を

少子高齢化が急速に進む中、公立病院は地域で求められる医療にどのように取り組んでいくのかが大きな課題となっています。とりわけ、人口減少や高齢化が著しい但馬地域では、これまでの急性期医療の需要が減少していく一方で、複合的な医療ニーズを持つ高齢者の医療需要の増加に対応するため、入院医療のあり方、救急医療体制、医療機関や施設間の連携などに変革が求められることは必至です。また、医師、看護師、その他の医療スタッフ、さらには病床などの限られた医療資源を地域全体で有効活用する視点も重要になってきます。

これらの対応には、地域の医療機能の集約化や役割分担を進めていく必要があることから、地域全体で将来を見据えた議論を行い、示される方向性については住民の皆さまにご理解とご協力をいただくことも不可欠です。

このような中、公立豊岡病院組合は地域の中核的な立場であることを改めて自覚し、これまで以上に広域的な連携を進めるとともに、組合が運営する各病院の機能分化や連携強化にも取り組み、但馬地域の医療をしっかりと守り続けていきます。

公立豊岡病院組合　管理者
八木 聰 やぎ さとし

1979年、兵庫県庁に入庁。県立光風病院（現・県立ひょうご こころの医療センター）や公立豊岡病院組合理事（派遣）、県病院事業副管理者などを経て2023年4月、公立豊岡病院組合管理者に就任。

但馬で完結する医療の提供を

豊岡病院は但馬圏域で唯一の急性期総合病院です。北近畿唯一の救命救急センターや、ハイリスク分娩にも対応できる但馬こうのとり周産期医療センター、認知症疾患医療センターを併設しています。

これらの機能を維持するため、医師確保に奔走しています。内科系診療科や耳鼻咽喉科など現在常勤医師が不在、または救急科など不足している診療科の医師を確保したい。都市部の病院に行かなくても、但馬で全ての医療が提供できる体制が理想です。大学の医局や兵庫県との連携を強化し、医師が集まる病院づくりに注力していきます。

豊岡病院　病院長
三輪 聡一 みわ そういち

1976年、京都大学医学部を卒業し、1982年に同大大学院医学研究科博士課程を修了。2016年に豊岡病院に入り、翌17年に病院長に就任。北海道大学名誉教授。専門は薬理学。

生活習慣病の改善・予防に注力

日高医療センターでは高血圧や糖尿病などの生活習慣病、そして腎不全の診療に力を入れています。高血圧と糖尿病、腎不全については独自のマニュアルを作成し、患者の生活指導に生かしています。また地域のクリニックなどに通う患者の生活指導にも対応しています。

今後は但馬地域最大の透析センターの維持はもちろん、地域ぐるみで生活習慣病の予防・改善を進めていきます。また、訪問看護や不妊治療にも注力していきます。訪問看護ステーションひだかについては、豊岡サテライト事業所との連携を強化し、効率的な運営を図っていきます。

日高医療センター　病院長
田中 愼一郎 たなか しんいちろう

1984年、鳥取大学医学部を卒業。1991年に神戸大学大学院医学研究科博士課程を修了後、日高病院（現・日高医療センター）に入職。2017年に病院長に就任。専門は内科、循環器、透析。

院内外で連携し、総合診療を展開

出石医療センターでは、院内の多職種や、地域のクリニック、薬局、行政などと連携し、プライマリ・ケア（身近な医師による総合的な診療）を展開しています。院内の医師や看護師が取り組む口腔ケアや栄養士と連携した病院食の提供、当院と地域の薬剤師会とで協力して行う残薬の再利用などはその一例です。

今年は電子カルテを導入しますので、効率的な診療に生かしたいです。今後も院内外との連携を重視していきますが、地域のクリニックは年々減少傾向にあります。医療機関同士で連携し、但馬地域全体で総合診療医を育成することを考えていく必要があります。

出石医療センター　病院長
西岡 顯 にしおか あきら

1980年、兵庫医科大学医学部卒業。1989年に出石病院（現・出石医療センター）に入り、2007年に病院長に就任。専門は総合診療、内科一般。

地域密着の総合的な医療の提供を

朝来医療センターでは、地域の方々の健康管理も含めた総合的な医療の提供を目指しています。地域の医師会の先生方と連携し、新型コロナウイルス感染症などの情報共有を徹底するほか、乳がん検診など検診活動に力を入れています。さらに昨年10月には、長年地域の皆さまからご要望をいただいていた産婦人科外来を開設しました。

今後も地域に密着した医療を展開したいと考えていますが、課題は医師の確保です。若手医師はもちろん、彼・彼女らを指導できる中堅の医師が必要です。なかなか難しい状況ではありますが、まずは現状の維持に取り組んでいきます。

朝来医療センター　病院長
木山 佳明 きやま よしあき

1979年、自治医科大学医学部卒業。出石病院や梁瀬病院での勤務を経て1988年、梁瀬病院長に就任。2016年、和田山医療センターと梁瀬医療センターが統合して開院した朝来医療センターの病院長に就任。専門は消化器一般、外科。

今号から広報紙「ほすぴたる」をリニューアルしました。地域の皆さまに信頼される医療機関を目指し、さまざまな情報を分かりやすく発信していきます。

命を守る救急医療

兵庫・但馬地域で唯一の3次救急医療機関である
公立豊岡病院の但馬救命救急センターでは、
24時間365日、救急医療に対応しています。
実際の現場では、どのようにして患者さんを受け入れているのでしょうか。
また、最前線で働くスタッフはどのような人たちなのでしょうか。

ドクターヘリやドクターカーを活用 現場で治療を開始する「早期医療介入」で救命率向上や後遺症軽減につなげる

公立豊岡病院の但馬救命救急センターは、北近畿で唯一の救命救急センターです。兵庫県全体の面積の約4分の1を占める但馬地域を中心とした広域の救急搬送に対応しています。全国から熱意を持って集まった救急医学、集中治療学を専門とする医師や看護師、消防本部の職員、ドクターヘリのパイロットなど院内外の多職種で連携しながら業務に取り組んでいます。

救急患者の命を守るために重要なのは、早期医療介入（現場で医療を開始すること）です。当センターでは少しでも早く医師が患者に接触できるように、ドクターヘリやドクターカーを活用しています。2010年から運航を開始したドクターヘリは、豊岡病院から半径50キロ圏内、兵庫県、鳥取県、京都府の10消防本部の管轄区域で活動しています。出動件数は全国最多で、2022年度は約1900件。ドクターカーは但馬地域の3市2町を対象に、24時間体制で運行しています。

現場で治療を始めることで、搬送先の医療機関に緊急手術や集中治療に必要な準備も依頼できます。こうした早期医療介入による連携が、救命率の向上や後遺症の軽減につながっているのです。また、当センターでは初期治療だけではなく、緊急手術や集中治療などにも一貫して対応しています。院内の各専門家の医師らとも連携して治療に当たっています。

但馬救命救急センター
センター長
永嶋 太
ながしま ふとし

当センターの所属医師は、子育て中の女性を含め約20人。チーム制で治療に当たっています。しかし、今年4月からの働き方改革により、全国の医療機関で質の高い医療の提供が難しくなると言われています。難しい問題ですが、当センターとしても、診療への影響を最小限とする方法を模索しています。

現在、当センターの拡張計画も進められています。今後も当センターが院内外で連携して行ってきた医療を維持しつつ、最先端の医療技術や設備も取り入れて、救命率の向上に取り組んでいきます。

全国版救急受診アプリ『Q助』を知っていますか？

総務省消防庁が作成した全国版救急受診アプリ「Q助」では、急な病気やけがをした時に、その緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供しています。画面上で該当する症状を選択していくと、すぐに救急車を呼んだ方がいいのか、自分で受診した方がいいのかなど、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。119番通報や医療機関の検索なども行えます。

アプリにはウェブ版もあり、24時間いつでも使用できます。平常時に模擬で入力して緊急時の対応を想定することもできます。

救急受診アプリ

ドクターヘリ出動の流れ

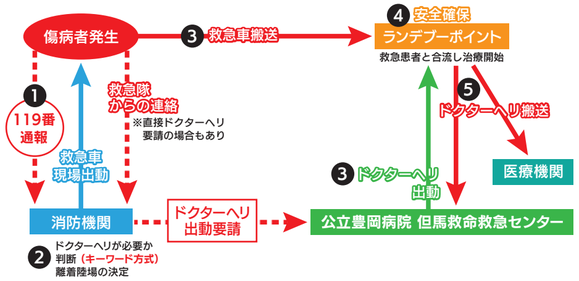
❶傷病者発生、119番通報

❷管轄の消防機関は、通報内容がドクターヘリ要請基準に合致していればドクターヘリを要請します。
また、ドクターヘリが着陸するランデブーポイントの選定を行います。
要請を受けた救命救急センターでは、直ちに出動の準備をし、3～5分以内に現場に向けて離陸します。

❸管轄消防機関から傷病者発生現場に向けて救急車が出動。
現場から傷病者をランデブーポイントへ搬送します。

❹ランデブーポイントで医療者が傷病者に接触し、診療・治療を開始します。
傷病者の状態（専門治療の必要性等）に応じて、搬送先を選び、フライトドクターが受け入れを依頼します。

❺搬送先が決定したら、ドクターヘリによる搬送を開始します。



ドクターカー

近隣消防機関または救急隊からの出動要請により、救急医療の専門医や看護師を乗せて、救急現場または救急車とのドッキングポイントへ向かいます。

ヘリでいち早く傷病者と接触 心がけているのは、現場の滞在時間の短縮と普段からの体調管理

但馬救命救急センター
医長
藤崎 修
ふじさき おさむ

フライトドクター

フライトドクターは、ドクターヘリに乗って救急現場に向かい、傷病者を治療します。現場でできることは限られているため、いち早く傷病者と接触し、治療して病院へ向かうまでの時間をできるだけ短縮することを心がけています。どのような現場でも対応できるように、普段から体調管理には気を付けていますね。早期医療介入の適切な実施が予後の改善につながることはデータ上でも証明されています。そこに意義を感じています。

必要な医療資機材を管理し、現場で医師をサポート どのような現場でも冷静、柔軟な対応を心がける

但馬救命救急センター
看護師
小野山 栄作
おのやま えいさく

フライトナース

フライトナースは、フライトドクターとドクターヘリに乗り込み、看護師として現場で医師をサポートします。病院内では鎮痛剤や昇圧剤、点滴の針など現場で必要な医療資機材が入った救急バックを身に着けて勤務し、要請を受けたらそのままヘリに乗り込みます。心がけているのは冷静に、柔軟に対応すること。例えば交通事故の現場なら救急救命士や警察官、地域の医師など、さまざまな人たちと連携しながら経験を積んでいます。

救急車で現場に駆け付け救急救命処置を行う ドクターヘリの運航開始で救命率の向上を実感

豊岡市消防本部豊岡消防署
救急第2係長
河本 篤
かわもと あつし

救急救命士

救急救命士は、救急車で現場に駆け付け、傷病者が医療機関に搬送されるまでに救急救命処置を行います。ドクターヘリやドクターカーが出動する現場では、医師や看護師と連携して活動します。ヘリの運航開始以降、回数を重ねることで連携はスムーズになり、救命率の向上や後遺症の軽減につながっているのを実感しています。私は指導救命士として、救急救命士の教育も行っていますので、署内の研修などにも力を入れていきます。

天候が刻々と変わる中、出動の可否を瞬時に判断

加藤 浩治
かとう こうじ

パイロット

ドクターヘリを操縦し、フライトドクターとナースを傷病者の元へ運びます。天候が刻々と変わる中、瞬時に出動の可否を判断しますので、朝一番にその日の天候の推移はきっちり確認します。飛びながらも雲の高さや見通し、風向きなどをチェックしています。

地上からドクターヘリを運航管理する「通信の専門家」

萩野 士門
はぎの しもん

CS (Communication Specialist)

地上からドクターヘリの運航を管理する「通信の専門家」です。各地の消防本部とランデブーポイントや傷病者の情報をやり取りし、ヘリに無線で連絡するなどスムーズな運航を支援します。情報を正確に聞き取り、簡潔かつ確実に伝えるよう心がけています。

医療スタッフを安全かつ速やかに現場へ運ぶ

田中 賢吾
たなか けんご

ドクターカー運転員

ドクターカーを運転し、医療スタッフを安全かつ速やかに救急現場や消防から要請を受けた場所に運びます。豊岡病院に入ってから7年間で約2500回出動しました。車にカーナビは付いていますが、地名ですぐに分かるように、大体の地図は頭に入れています。

Emergency Medical Care TEAM

ドクターヘリ見学会

ヘリの大きさに驚き、スタッフへエール

2023年10月、ドクターヘリ見学会を開催しました。招待されたのは、豊岡病院創立150周年イベントで募集した絵画とエピソードの優秀者とそのご家族12名。

パイロット等からの説明のあと、ヘリのシートに座ってみたり、写真を撮ったりと、ヘリに存分に触れていただきました。

参加者からは「ヘリが大きくて驚いた」（豊岡市・小学5年生）、「ヘリにスピーカーがついているなんて知らなかった」、「自分も将来看護師になりたい。厳しい仕事だと思うが頑張ってほしい」（大阪府・小学6年生）等の感想が聞かれました。

ドクターカーも参戦

憧れのヘリに座れてにっこり

TOPICS 各病院のお知らせ情報

豊岡病院

褒める文化を根づかせたい

豊岡病院では、「患者ご意見箱」などで、お褒めの言葉をいただいた職員・部署に対して、『グッドジョブ賞』として表彰しています。

褒める文化を醸成し、職員一人ひとりのモチベーションアップを図り、患者サービスの向上に取り組んでいます。

いつも貴重なご意見ありがとうございます。

日高医療センター

生活習慣病予防・改善へ

生活習慣病の予防・改善への一環として、糖尿病注射薬についての研修会を2023年12月1日に院内職員と日高地域の介護支援専門員、介護職員の方々をお招きし開催しました。

進化する糖尿病注射薬について正しく理解し、患者指導に活かすため最新情報と指導方法を学び、院内外で連携しながら生活習慣病予防・改善に取り組んでまいります。

出石医療センター

電子カルテの運用を開始します

2024年3月4日より、電子カルテシステムの運用を開始いたします。

診療体制が安定するまでの間、患者のみなさまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお、電子カルテ導入に伴いまして、3月4日以降、受診される方から順に新しい診察券と交換させていただきますので、よろしくお願いいたします。

朝来医療センター

福永 次雄
ふくなが つぎお

木原 智子
きはら ともこ

産婦人科外来について

2023年10月に開設した産婦人科外来について、「近くで診てもらえて助かる」「いい先生に診てもらえてよかった」など多くの感謝の言葉を頂戴しています。受診される患者さんも日に日に増え、産婦人科が朝来市域に必要な診療科であったことを改めて痛感しました。開設出来て本当に良かった！

協力いただいている2人の先生をはじめ開設に尽力いただいた全ての方に感謝します。

※産婦人科の診察ご希望の方は電話予約が可能です。